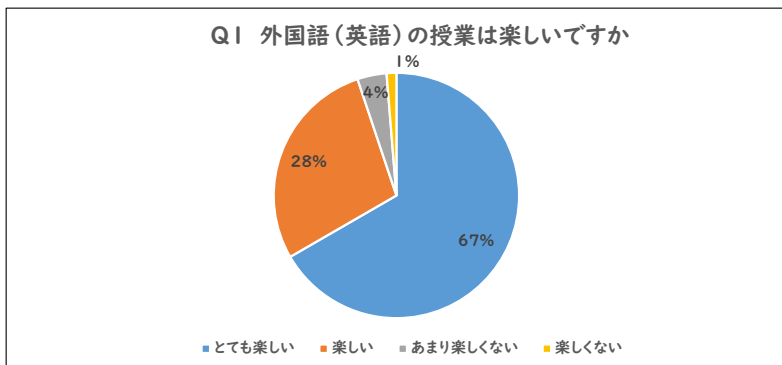
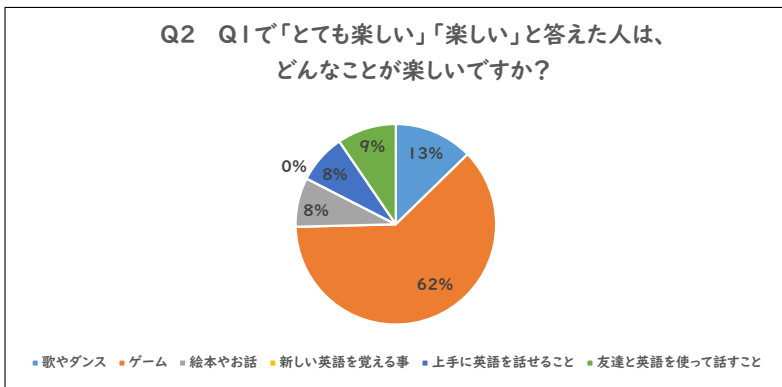


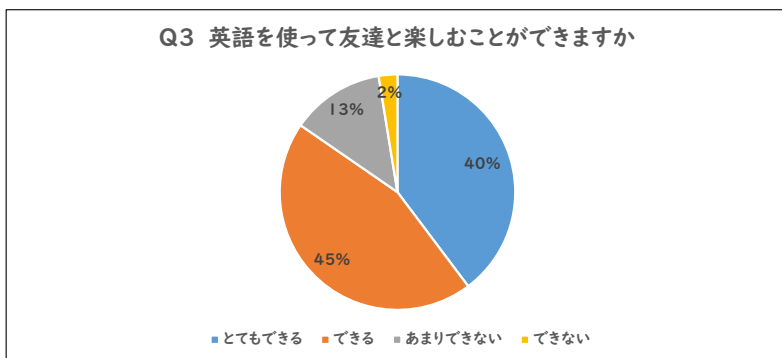
令和4年度外国語（英語）の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察（青海小学校）



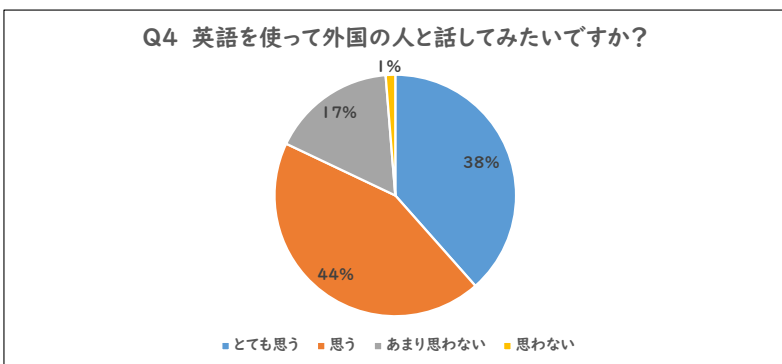
【Q1について】
 「とても楽しい+楽しい」を選択した児童が95%おり、外国語の授業を楽しみにしている様子が窺えます。昨年度も96%でしたが、本年度は「とても楽しい」の割合が6%ほど上昇しました。
 宇城市全体でも「とても楽しい+楽しい」を選択した児童は90%でしたが、「とても楽しい」の割合は45%で、本校児童がより授業に親しんでいることがわかります。



【Q2について】
 昨年度は授業中に行う「ゲーム」を84%の児童が選択していましたが、「歌やダンス」が5%から13%へ上昇し、「絵本やお話」「上手に英語を話せること」「友達と英語を使って話すこと」も4~5%上昇しており、「授業」として意識するとともに知的な活動を楽しめるようになってきたことが窺えます。ただし、「新しい英語を覚えること」が本校のみならず市全体でも0%であることは大きな課題だと思われます。



【Q3について】
 「とてもできる+できる」の割合は昨年度とほぼ変わらず、85%の児童が肯定的に受け止めていることがわかります。また「とてもできる」の割合は市全体の28%と比較しても大きく、授業で友達とのやりとりを積極的に取り組み、楽しんでいることが窺えます。



【Q4について】
 「とても思う+思う」の割合は昨年度の86%とほぼ変わらず、概ね肯定的に受け止めていると言えます。また昨年度は8%だった「思わない」の割合が1%に下がり、逆に「思う」の割合が9%増えるなど、昨年度よりも肯定的に受け止める児童が増えてきたと思われます。

【保護者・学校関係者からの意見・要望等】

◎令和4年度末の学校評価アンケート（最大値4、最低値1の4段階評価）では、「外国語学習の充実」について保護者様が平均値3.5、地域の皆様が3.8となっています。概ね高い評価をいただいていますので、4月から赴任したALTとの連携を図り、授業実践を充実させることで更なる皆様の信頼につなげていきたいと考えています。

【考察・今後の展望等】

◎これまで児童の発達段階に応じたクラスルームイングリッシュを活用したり、ゲームで意欲を高めるだけでなく、友達同士やALTとコミュニケーションを行う場面を多く取り入れた授業ができつつあると言えます。さらにその基盤として、授業や集会、行事等において「日本語」を大きな声ではっきり話せる児童を育てていきたいと考えています。